

2020年度 事業計画書

2020年 4月 1日から 2021年 3月31日まで

特定非営利活動法人VIVID

1 事業実施の方針

新型コロナウイルス感染症の発生と、それに伴う緊急事態宣言によって、多くの人が生活の変化を余儀なくされ、弱者への影響が懸念がされる場所である。

かかる状況において、障がいがある人もない人も、お互いの人格と個性を尊重し、相互に助け合える社会を共につくっていくという当法人の理念を常に確認しながら、福祉事業者としての社会的役割を果たすべく事業を行う。

1. 「フレッシュスタート目白（以下フレスタ）」と「高次脳機能障害相談支援VIVID（以下相談支援VIVID）」を事業の柱とし、連携をすすめる。
2. フレスタ経営の基盤を強め、法人経営の安定化をすすめる。
3. 職務分掌の理解を深めること、職員の技能アップをはかることで、事務局体制と支援力の強化を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【42,727】千円)

| 事業名 | 事業内容 | 実施 予定 日時 | 実施 予定 場所 | 従事者 の予定 人数 | 受益対象者 の範囲及び 予定人数 | 事業費の 予定額 (千円) |
|----------------------|--|----------------------------|----------------|------------------|------------------------|---------------------|
| (1) 高次脳機能障がい者支援事業 | ①相談：電話等で寄せられる相談に対応する ②普及啓発：前年度までの委託事業であったミニデイメンバーによる発表会を開催する ③調査・研究：集会等のアンケート集計を受託する | 年間 | 都内 | 5人/年 | 都民 | 10 |
| (2) -①指定 特定相談支援事業 | フレスタ利用希望者から相談支援VIVID利用者へ、相談支援からフレスタ利用へとフレスタとの連携を強化する。継続支援、利用計画ともに計画的に実施する。サービス受給者証の発行を早めるように努める。相談支援専門員の増員とスキルアップをはかる。 | 月・火・木・金 曜 9:30~13:30 | 事業所他 | 4人/週 | 16人 | 3,390 |
| (2) -②障害 福祉サービス事業 | 年度末登録人数を25人にする（内、新宿区民12人）。年度末の1日平均の利用者数を18人にする。 フレスタの存在を周知すること、障がいの理解を広げることがを目的に、販売イベント等への参加、地域への情報発信を積極的に行う。 基本報酬算定区分のランクを維持するため、平均工賃月額25,000円以上に維持する。 高次脳機能障がいの自己認識・自己受容、生活リズムの組み立てを課題にし、利用者一人ひとりの強みを生かせる個別支援計画を立てる。スタッフのスキルアップをはかる。 就労支援事業は、リユースショップの運営、新宿区緑化作業、自主製品の製造販売、ポスティング等を行う。 | 月曜～金曜 10:00～15:30 | 事業所 | 7.8人/週 | 4,042人 | 39,327 |

(2) その他の事業

(事業費の総費用【0】千円)

| 事業名 | 事業内容 | 実施 予定 日時 | 実施 予定 場所 | 実施 予定 場所 | 従事者 の予定 人数 | 従事者 の予定 人数 | 事業費の 予定額 (千円) |
|-----|------|----------------|----------------|----------------|------------------|------------------|---------------------|
| 無し | | | | | | | |